

荻窪中学校学校便り

令和5年6月26日発行

「型(かた)」の文化

毎月行われる朝礼で、生徒たちに向けて各月の昔の言い方を話の冒頭で伝えています。我が国の文化や伝統、習慣や歳時記への関心を高めてほしいと思っています。どの国々においても、自国の文化を始めとして各国々の文化を尊重する姿勢があります。真の意味での国際化、グローバル化を進めていくには、文化や伝統、生活様式とともに社会的なマナーへの関心に対し尊重する姿勢を高めることが重要です。

一人ひとりの人間が、人としてその尊厳を認め合い、それぞれの個性を互いに尊重していくことは、社会生活の根幹といえます。個の尊重と個性を認め合うことは、人権感覚として第一にしていくものであることは言うまでもありません。After コロナ、AI 社会、グローバル社会など、現代社会の言い表し方は様々です。SDGs にある持続可能な社会を構成していくために、これから社会の維持と創造に向か、様々な視点から取組が行われていますが、「温故知新」の視点を捉えることは大切ではないかと考えます。コロナ禍から次の時代に向け過去に回帰するのではなく、過去を捨て刷新していくことだけではなく、守るべきものと変えていくべきものをしっかりと見つめていくことが、コロナ禍で関わり合いの薄くなった現代を次の時代に繋げていく大きな要素だと考えます。

文化や伝統の継承に、「型」を守ることの大切さが言われます。芸術の世界で、文楽や歌舞伎、茶道や香道、また柔道や剣道などの武術にも脈々と受け継がれている文化、「型」があります。また、作法や所作として受け継がれているものも、我々の生活や文化の中にたくさんあります。この「型」を習得し、「型」を伝えていくことで、文化が守られていると考えられます。しかし、伝統や文化は守るだけではなく、時折「型破り」なものが現れてくることがあります。今までになかった斬新な文化や新たな「型」の創造が行われることがあります。けれども、ここに現れてくる「型破り」なものは、まったく異質なものではなく、今まで習得してきた「型」を基礎・基本として、その「型」の変形であることや、新しい解釈であることが常です。まったく「型」を無視し、変質したものは「形無し」と称され、一時的には面白さや珍しさで興味を抱かれても継承はされないものです。

教育とは、この「型」の本質と基礎・基本に目を向けていくこととその習得が始まりではないかと考えます。学校教育でいう「型」とは、「読み・書き・算盤」に称せられる知恵と知識の獲得にあります。基礎・基本となる学ぶ力を学校での学習を通じて獲得し、その上でこれからの社会で必要とされる汎用的能力「生きる力、生きぬく力」を身に付けていきます。さらには、他者への依存ではなく自立的思考と活動に向かい、排他的姿勢よりも共生的な関係を作り上げ、利己的価値判断よりも利他的心情を育んでいくために、家庭や地域生活を通じ日常生活の基礎的なマナーや社会規範とともに、社会関係能力を高めていくことを目的としています。

学校生活を通じ、生徒たちには人としてより良く生き、社会生活を営んでいくための基礎・基本をしっかりと身に付けていきます。その上で、社会や人々との関わり合いの中から自分自身の生き方、自らの夢を実現した「型破り」となる自らの人生を設計してほしいと思っています。また、文化や伝統に目を向け、「型」を学び進めていくことから、地域活動の活性化や文化・伝統の継承やコミュニケーションスキルをも習得し、未来社会の想像や発展にもつながっていくものと考えています。地域活動や祭礼をはじめとする地域行事が再開してきました。子どもたちの地域活動への参加を促進していくことが話題となっています。それよりも大きな視点は、after コロナ社会を創造していく上で、「温故知新」を意識し、大人たちが「型」や文化、社会的なマナーに対する関心の度合いが課題なのではないかと考えます。今一度社会に、文化に、地域活動に目を向けていくことがグローバル社会への一歩ではないでしょうか。

第72回運動会 5月27日(土)



部活対抗リレーさまざま



ムカデ競争



大縄跳び

台風の目

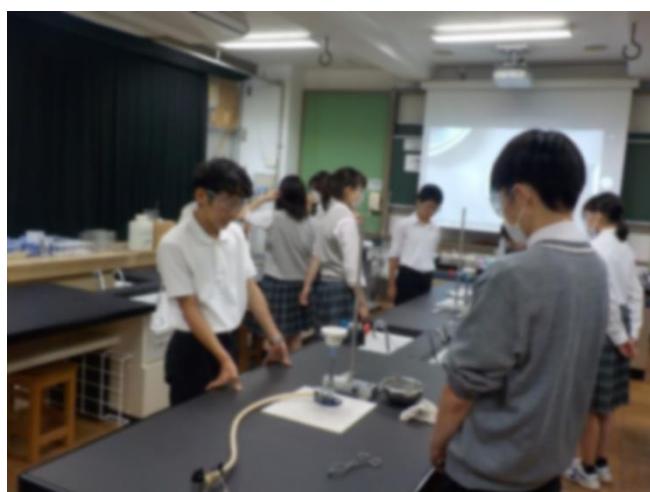
日差しを避けて

5月27日（土）に、第72回運動会が晴天の中開催されました。3年ぶりに、思いっきり取り組んだ運動会になりました。延べ人数で、800人を超える保護者の方々やご家族など、多くの参観者に応援をいただき、大きな想い出と達成感を得ることができた運動会でした。4月から運動会実行委員会が結成され、運動会スローガン『One for all, All for one.（一人はみんなのために頑張り、みんなは一人のために頑張ろう）』の下、生徒会の企画した部活動対抗リレーをはじめ、みんなが楽しめる運動会が実現できたと思える、感動的な一日となりました。荻窪中学校の生徒の底力がまさに発揮された学校行事になりました。

実行委員勢ぞろい！

理科出前授業

6月19日（月）に理科の出前授業が行われました。済美教育センターから理科の授業者が来校して、実験授業を行いました



令和5年度前期生徒総会 5月19日(金) 6校時



令和5年度生徒会の活動が始まりました。5月19日に今年度の生徒会役員会及び各種委員会の活動方針が提案され、その実施に向けた活発な討議が行われました。荻窪中学校の教育目標にもある、自主・自律を目指して、生徒たちの自治活動がすすめられていきます。

副校長先生の紹介

6月1日（木）より、大賀威義（おおが たけよし）副校長先生が着任されました。

6月1日(木)から、荻窪中学校に副校長として着任いたしました、大賀威義(おおがたけよし)と申します。

着任して早1ヶ月、毎日のように荻窪中学校の素晴らしいところを発見でき、幸せを感じています。初めて出勤した際、第一に驚いたことは、校舎内が非常に綺麗であるということでした。70年以上の歴史ある学校ですが、それを感じさせないほど綺麗で驚き、きっとこの校舎を使っている生徒の心も、豊かで綺麗なのだろうと思いました。その予想通り、生徒の皆さんと初めて顔を合わせた際、見ず知らずの私に、「おはようございます」「こんにちは」と自分から進んで挨拶をしてくれました。また、授業を見学に行くと、一生懸命に授業を受けている生徒の姿もありました。先生方も非常に熱心で、職員室内の雰囲気も良く、学校全体がさわやかで、非常に気持ちが良いと感じています。

私が中学生の頃、「フォレストガンプ」という映画を観た際、「一期一会」という四字熟語がでてきました。映画に感動し、初めて自分から辞書で調べたことばです。これには、「人との出会いは人生で一度きり。普段からよく会う人でも、これが最後かもしれないと思い、そのときを大切にする。」という意味があります。私は、これを調べたことがきっかけで、多くの人と出会うことのできる教師という職業を選びました。荻窪中学校の生徒の皆さんと出会えたことも、「一期一会」です。これから、よろしくお願ひいたします。

最後に、荻窪中学校は、PTA をはじめ地域の方々に支えられている学校です。こんなにも多くの方々から支援していただいていることにも、本当に驚きました。これからも、どうぞよろしくお願ひいたします。

6・7月の予定

- 6月26日～・・・ プール開き、水泳指導
- 7月 3日・・・ 全校朝礼、安全指導
- 7月 4日～6日・・・ 職場体験（2年生）
- 7月 7日・・・ 漢字検定（おぎすけ主催）
- 7月 8日・・・ 土曜授業、進路説明会、引き渡し訓練
- 7月 10日・・・ 生徒会朝会、生徒会役員選挙公示、専門委員会
- 7月 12日～14日・・・ 修学旅行（3年生）
- 7月 22日・・・ 1学期終業式
- 7月 23日～8月 31日・・・ 夏季休業日